

みんなふ～あん

11

「ふ～あん」=タイ語で「ともだち」といういみです。

いのちをまもるための2つのこと



火災避難訓練がありました。ひるやすみ、あそんでいるときに、火事がおこったら、という火災避難訓練でした。運動場であそんでいたみなさんには、あそびをやめて、しづかにほうそうをきくことができました。ハナマルだとおもいました。でも、いどうをはじめるとしゃべってしまいました。

もし、火事のゆくえがかわったりして、二どめのほうそうがあったら、聞きもらしたかもしれません。校長先生は、こわいなあとおもいました。

それから、あつまてもしゃべっている人がいました。これもこわいなあとおもいました。たいせつなほうそうがきこえないとおもいました。

この2つのことが、校長先生がみんなにかんがえてほしいことです。



ほうそうはしずかにきくこと

ほうそうはしずかにきくことをあたりまえにしましょう。火事がおこったときなど、緊急のときだけできる、なんてことはありません。ひごろから、できていないと、いざというときにはやくにたちません。まずはじぶんができるようになるようにこころがけましょう。そしてクラスで、ともだちとみんなでできるようにしましょう。そうすれば、じぶんのいのちもともだちのいのちもまもることができます。とてもたいせつなことです。



あつまつたらしゃべらないこと

あつまつたらしゃべらないことをあたりまえにしましょう。たっていたらしゃべってしまうので、あつまつたひとからすわってしづかにまつこともひとつのはうほうです。あつまりかたを担任の先生とかくにんしましょう。6年生は修学旅行、5年生は集団宿泊教室にいってきました。学校をとおくはなれて、みんなでかつどうします。あつまつたらしゃべないと、こんなかつどうはできません。いまのうちにできるようになっておきましょう。



スタンプチャレンジをおわります。学校教育目標や児童会目標など、おぼえて校長室スタンプチャレンジをしていましたが、しづかにしなければいけないいろうかで、どうしてもさわがしくなってしまうので、スタンプチャレンジはおわります。いまあつめたスタンプをたいせつにしておいてください。

きたっこかべしんぶん⑧と⑩がありません。⑧と⑩は6年生にむけて、とくべつにつくったので、くばっていません。

